

COP28・適応に関する議論と注目点



特活)「環境・持続社会」研究センター (JACSES)
気候変動プログラムリーダー/事務局次長 遠藤理紗
endo@jacses.org

1. 適応（GGA・GlaSS）に関する議論・動向

適応に関する世界全体の目標（GGA）に関するグラスゴー・シャルム・エル・シェイク作業計画（GlaSS）

- パリ協定第7条で世界全体の適応目標を設定「1 締約国は、第二条に定める気温に関する目標の文脈において、持続可能な開発に貢献し、及び適応に関する適当な対応を確保するため、この協定により、**気候変動への適応に関する能力の向上並びに気候変動に対する強靱性の強化及びぜい弱性の減少という適応に関する世界全体の目標を定める。**」
- GGAの概念・評価手法についての理解やGSTにおけるGGA進捗評価などについて詳細が議論されておらず、COP26で2年間のGlaSSを設立し、年4回ワークショップを開催して議論することに合意。
- 2022年および2023年に計4回ずつWSを実施、**COP28にて2年間にわたる作業が終了予定。**
- [2022年WSのサマリーレポート](#)（2022年11月7日）：1年間の実施活動、GlaSSの目的、第1～4回WSの概要およびサマリーレポート。
- 2023年の各WSサマリーレポートも公表：[第5回](#)、[第6回](#)、[第7回](#)、[第8回](#)。

1. 適応（GGA・GlaSS）に関する議論・動向

- 昨年のCOP27では2022年のGlaSS作業進捗の確認・2023年の作業内容検討とともに、途上国から提案のあったフレームワークの設置について議論し、2023年COPでのGGAのためのフレームワーク採択に向け議論を開始することが決定。
 - パラ9：フレームワークはGGAの達成及びその全体的な進捗評価につながるもの。
 - パラ10：フレームワークは、特に以下の4つの要素を考慮に入れる；(a) 適応サイクルの各段階、(b) 優先テーマ、(c) 分野横断的要素、(d) 情報源。
- 今年6月のSB58では、フレームワークに入れ込むべき事項等について議論。提出された締約国の意見や[informal note](#)に留意しつつ、GlaSSの残りのWSでの議論や追加提出される意見等を踏まえ、COP28での検討・採択に向けて審議を継続。



2. COP28での合意への期待・注目点

適応に関する世界全体の目標（GGA）フレームワークの採択

SB58 Draft conclusionで記載されたCOP28での決定書案の構成要素

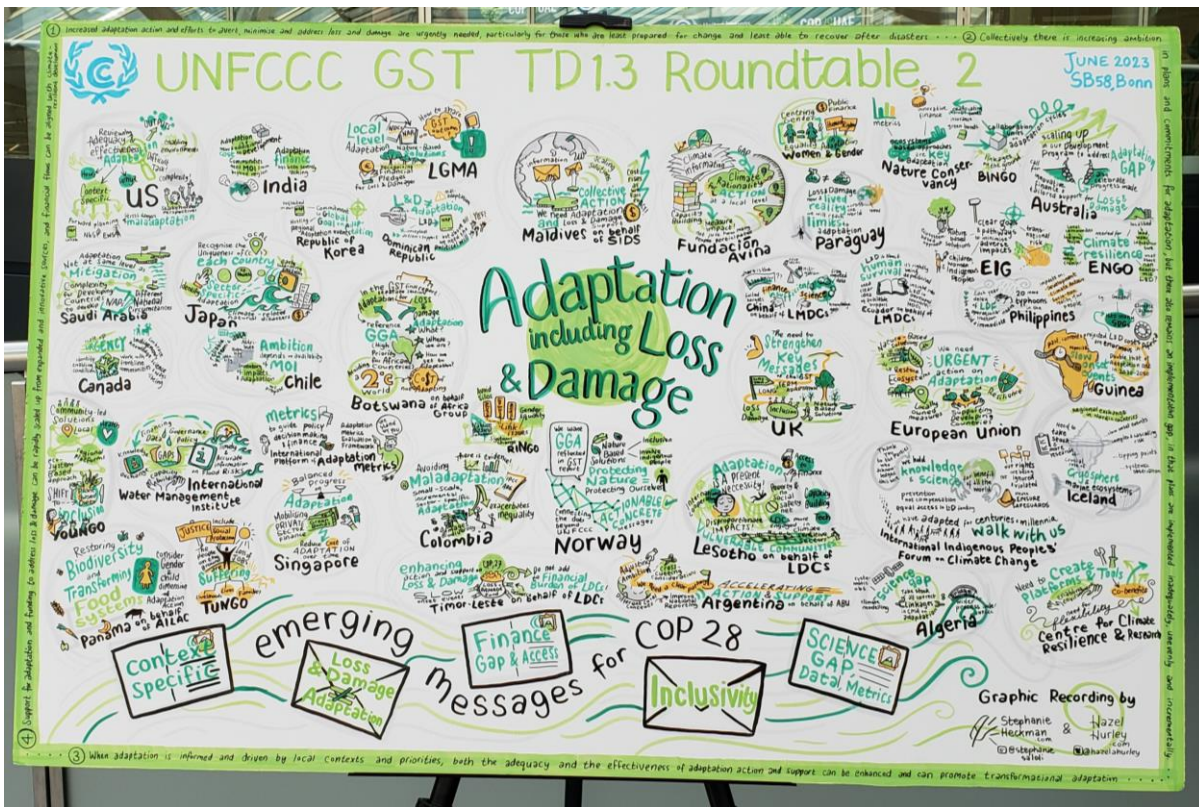
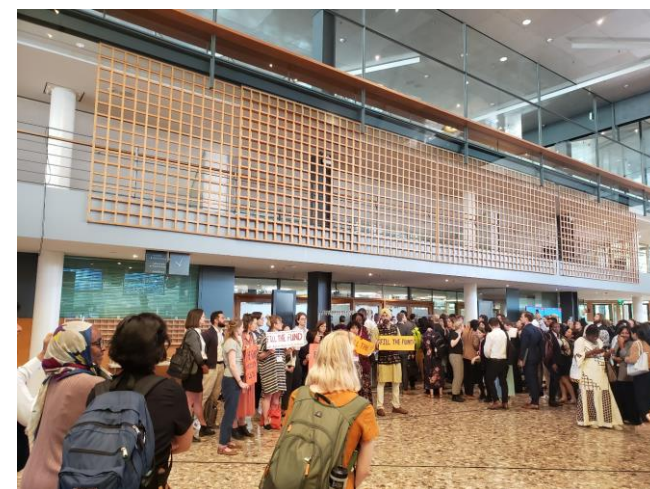
7. The SBSTA and the SBI considered the possible structural elements, outlined below, for a draft decision for consideration and adoption by the Conference of the Parties serving as the meeting of the Parties to the Paris Agreement at its fifth session (November–December 2023):

- (a) Preamble;
- (b) Acknowledgement of progress and conclusions under the Glasgow–Sharm el-Sheikh work programme on the global goal on adaptation;
- (c) Establishment of the framework for the global goal on adaptation;
- (d) Elements of the framework for the global goal on adaptation:
 - (i) Purpose;
 - (ii) Dimensions;
 - (iii) Themes;
 - (iv) General and cross-cutting considerations;
 - (v) Enabling conditions (option 1) or means of implementation (option 2);
 - (vi) Reporting;
 - (e) Overarching targets and specific targets, indicators and metrics (option 1) or shared adaptation priorities under the framework for the global goal on adaptation (option 2);
 - (f) Link to the global stocktake;
 - (g) International cooperation and the role of stakeholders;
 - (h) Follow-up work (option 1) or no section on follow-up work (option 2);
 - (i) Finance and budgetary provisions (option 1) or no section on finance and budgetary provisions (option 2).

2. COP28での合意への期待・注目点

第1回グローバル・ストックテイク（GST）を通じて示される世界の適応策の進捗は？

- ⇒世界・各国に求められる対策や支援を強化
- ⇒異なる適応ニーズへの対応
- ⇒「損失と損害」の議論との関連





ご清聴ありがとうございました

- 「気候変動に起因する被害を最大限防ぐための「日本の施策と国際発信」に関する提案 ～G7広島サミット（主要国首脳会議）を機に～【資料付き】」
<http://jacses.org/report/2108/>
- JACSESウェブサイト (<http://jacses.org/>)
- JACSES気候変動/SDGsチームインスタグラム (jacses_climate_sdgs)